

印 刷 局

後非常なる進歩をなしたり  
 と雖ども工業國としては尙  
 ほ遙かに文明諸國の下に立  
 てり。

工業中最も注意すべきは  
 綿・絲・紡・績なりとす、其の原料  
 は主として印度より、又一部  
 は北アメリカ合衆國及び清  
 國より輸入し、其の製品たる  
 綿織絲は、内國の需要に供す  
 る外、盛んに海外(主として清  
 國)に輸出し、輸出品中第二位

を占む、此の工業は東京及び大阪二府最も盛んにして、愛知  
 三重及び岡山の三縣これに次ぐ。

綿絲紡績と共に盛大なるは絹絲製造にして、生絲は輸出  
 品中の第一位を占む、此の業は養蠶業の盛大なる地方に最  
 も盛んにして、就中静岡縣を以て第一とす。

維新の初年に當りては、工業の模範を示すが爲め、政府は  
 數多の工場を設けしが、其の後民業の發達と共に、紙幣印刷  
 (印刷局)貨幣鑄造(造幣局)其他兵器火藥等特別の必要ある  
 もの、外、すべてこれを廢止し、専ら工業の獎勵と保護とを  
 圖れり。

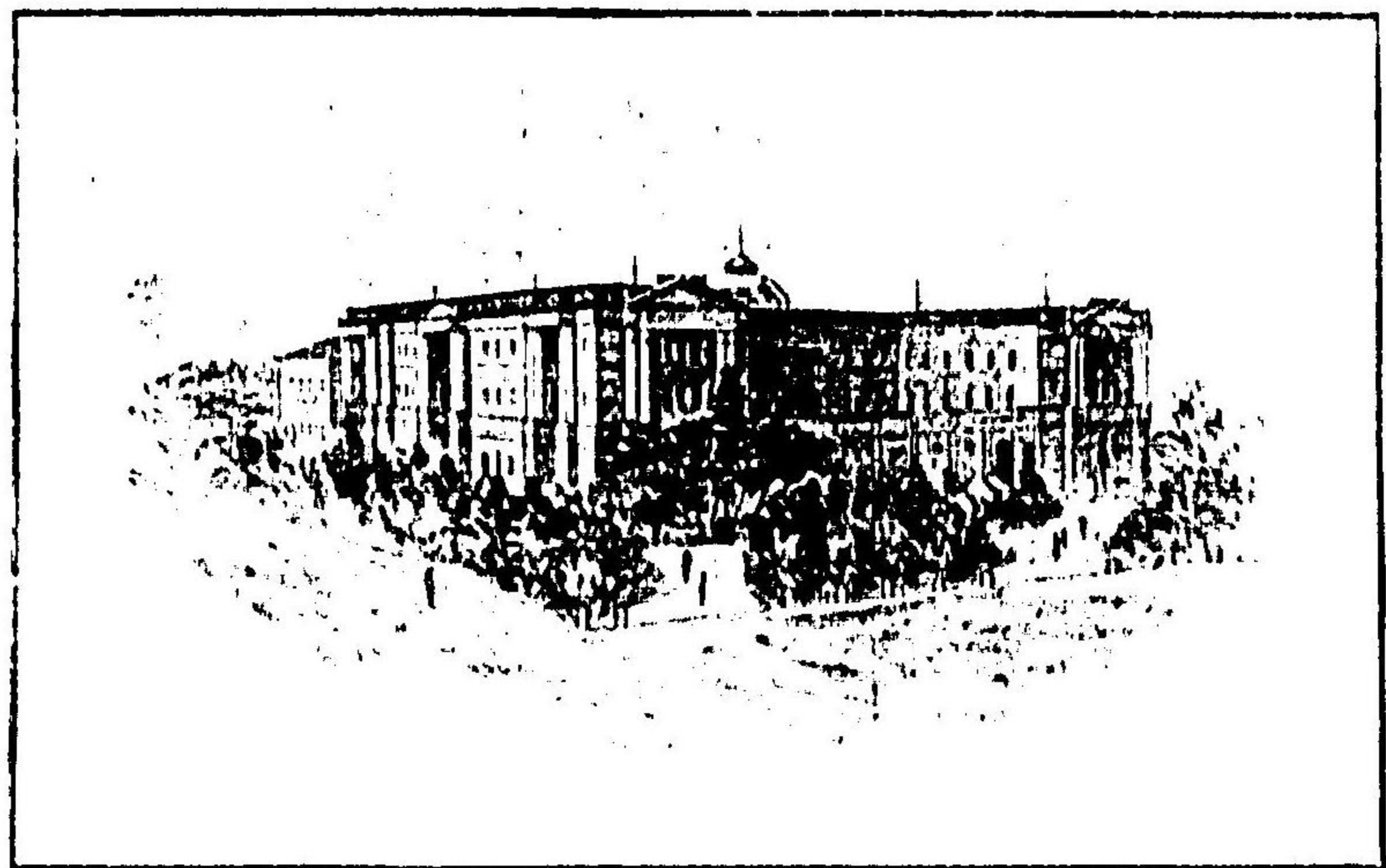
第七節 商業

二三、我が國の商業 古來商業を輕んじ、士農工商とし

て商人を四民の末に置き、商人も亦た公德を缺き、卑屈に流  
れしが、維新後僅かに此の弊を脱し、信用制度漸次に行はれ  
んとす、然れども他の文明國に比し、商業國として我が國は  
尙ほ遙かに劣等の位置にあり。

内國商業の大中心は、東京及び大阪の二市にして、名古屋  
金澤、廣島、福岡の諸市及び小樽區等これに次ぐ。重要なる  
商品は米及び酒にして、麥、茶、生絲、綿織絲等これに次ぐ。

金融機關としては凡そ三千の銀行あり、就中日本銀行は  
全國の金融を調整し、横濱正金銀行は外國貿易上の機關た  
り、其他日本勸業銀行は東京市に、農工銀行は各地方に、臺  
灣銀行は臺北に、北海道拓殖銀行は札幌區にあり、商業の盛  
んなる地方には商業會議所及び取引所の設けあり。



日本銀行

政府は勸業博覽會、共進會  
等を開き、或は發明特許、意匠  
及び商標登録、實業學校増設  
等、大に商工業の進歩と改良  
とを圖れり。

### 二四、外國貿易

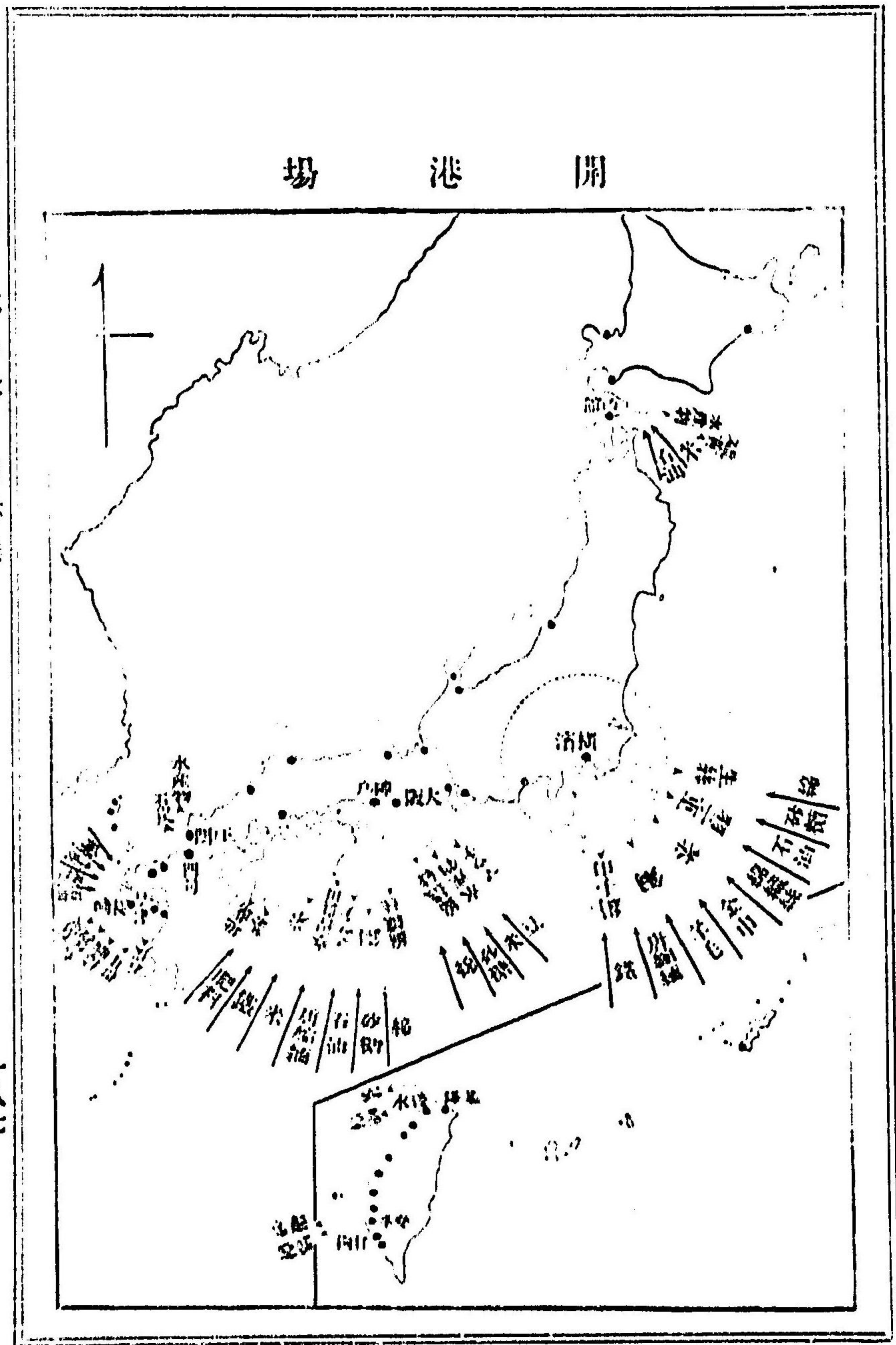
外國  
貿易は漸次盛大を來し、輸出  
入額は五億圓を超ゆるに至  
れり、然れども日清戰役後、買  
易の趨勢を見るに輸入は大  
に輸出に超過し、正貨は盛ん  
に海外に流出し、其の勢尙ほ

未だ全く已まず、且つ其の輸出輸入共に多くは外國商人之手に依り、外國船舶の助けを借るのみならず、其の輸出品の多くは、生絲の如き工業原料品に非ざれば、絹布の如き奢侈品にして、工藝製作品は至て少く、輸入品と全く趣を異にするは、大に改良すべきことなりとす。

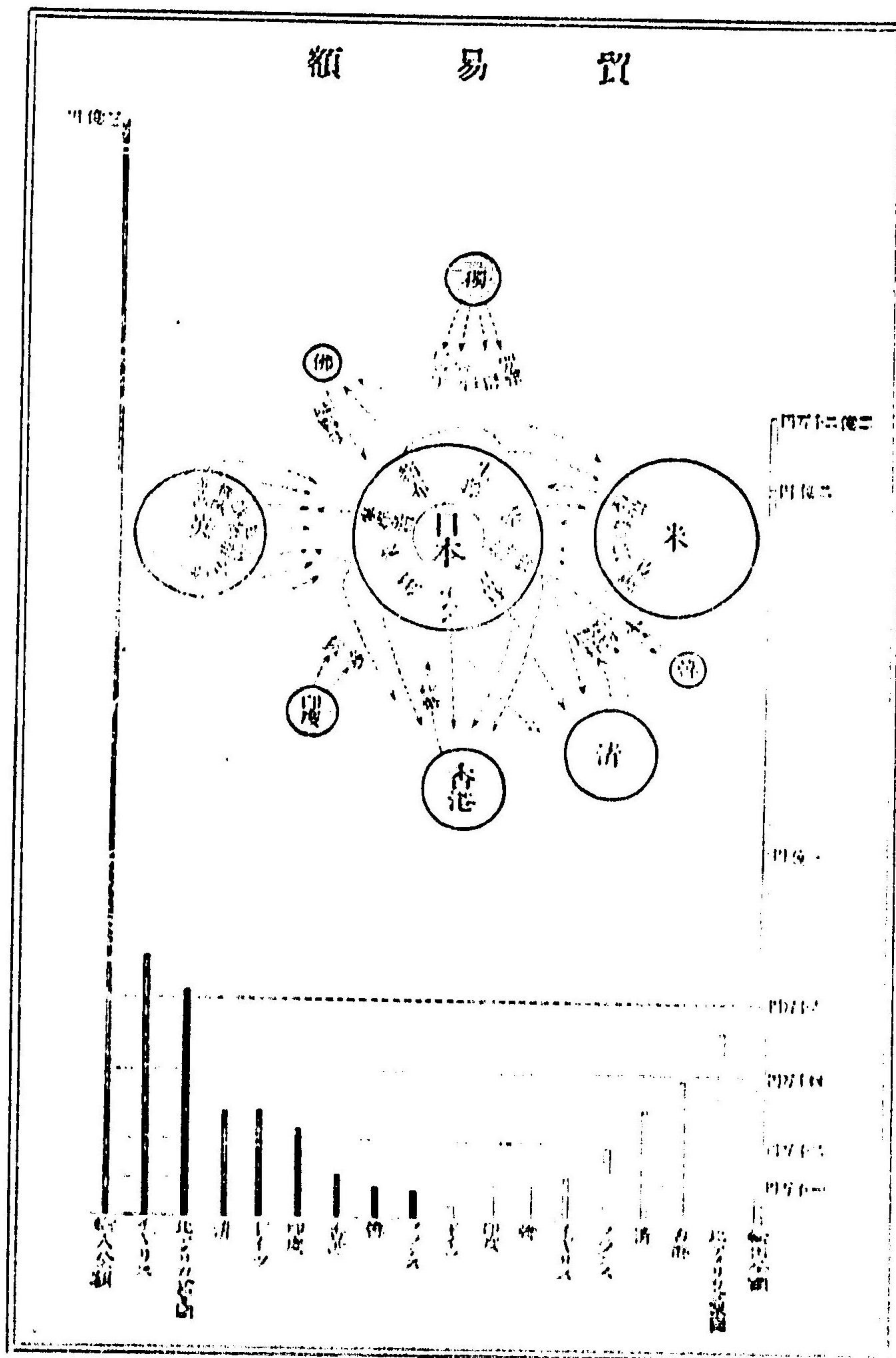
主要なる輸出品は生絲・綿織絲・羽二重・石炭・銅・米・茶・摺附木・麥稈・眞田等にして、主要なる輸入品は綿・砂糖・穀物・鐵類・石油・毛織物・綿布・肥料・機械等なり。

貿易額を國別にするときは、北アメリカ合衆國を第一とし、我が國貿易額の四分の一を占む、これに次ぐを清國及びイギリスとし、ドイツ・フランス又これに次ぐ。而して我が國と他の東洋諸國との貿易が、近來長足の進歩をなし、は

### 開港場



### 貿易額



特に注意すべし。

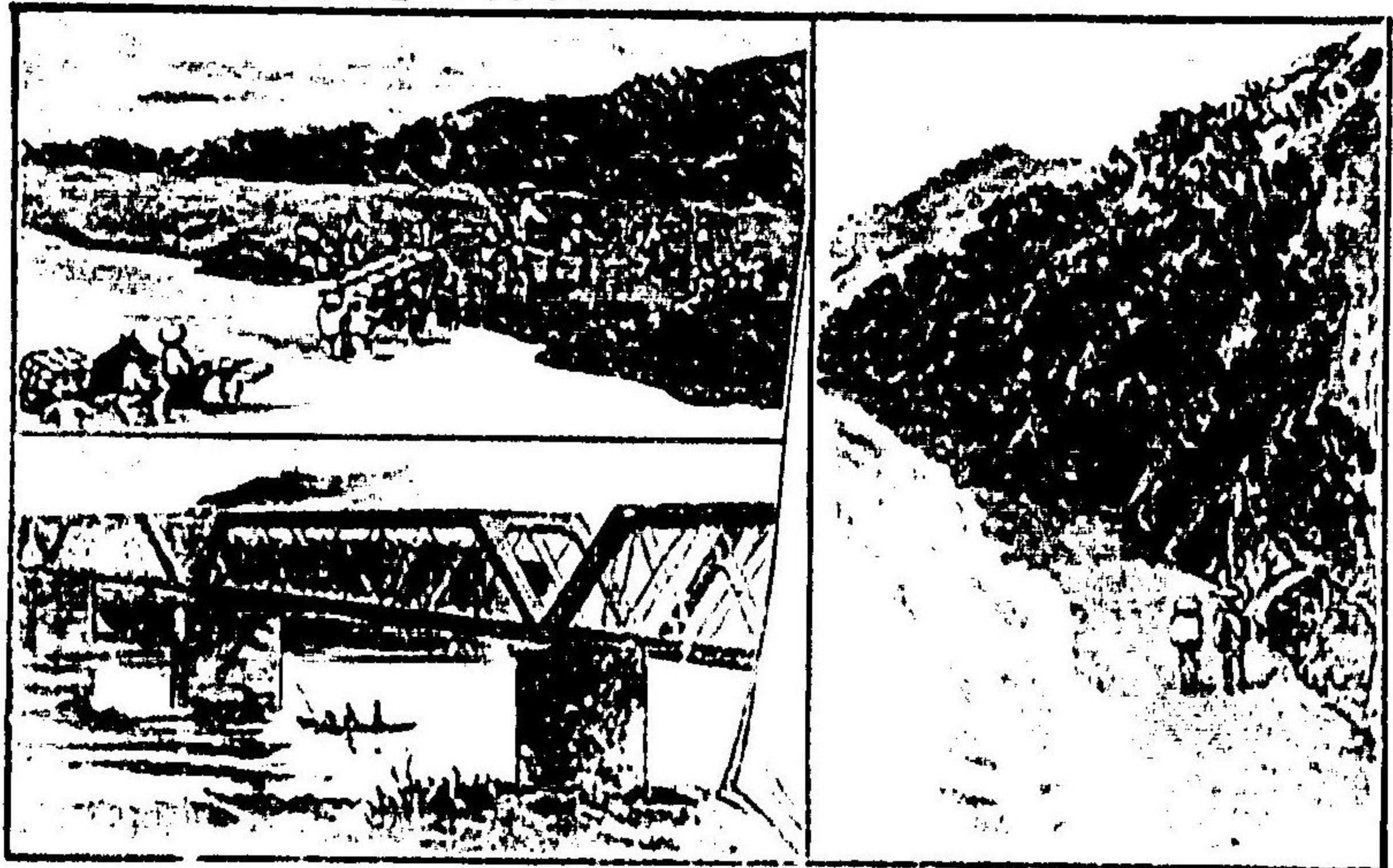
北アメリカ合衆國は我が國第一の花主にして我が國より盛んに生絲及び緑茶を輸出す吾人日用の石油は多く此の國より來るものなり。又領地をも合するときには貿易額はイギリスを以て第一とし我が國貿易の三分の一を占む。

現今開港場の數は三十三あり。其中神戸及び横濱の二港最も盛んにして合して輸出入總額の殆んど八割を占む。又輸入に於ては神戸第一にして輸出に於ては横濱第一たり。横濱の輸出品は生絲これが首位を占む。他の諸港中稍多額なるは長崎大阪下ノ關門司函館淡水口ノ津の七港なり。

關稅收入等の爲め内地に於ては横濱神戸大阪長崎函館

新潟の六港に、蘆灣に於ては淡水安平の二港に税關を置く。

大井川運漕渡



木曾川鐵橋

親不知子不知

### 第四章 交通

#### 二五、陸路 維新前交通

の不便なりしは實に想像の外にありき、これ故意に川づるものあり、或は天然の儘に放棄して顧みざるものあり、彼の大井川の運漕渡の如き、新潟富山兩縣の境なる「親不知子不知」の險の如き、其の有名なるものにして、九州より江戸に至るには概ね一ヶ月

を費したりき。維新後道路を開き、橋梁を架し、鐵道を敷き、馬車・人車等の設備稍整ふるに至れり。

道路には國道・府縣道・里道の別ありて、内地に於ては稍整頓せしが如しと雖ども、北海道及び臺灣に於ては、其の開鑿尙ほ甚だ不十分なり。又都邑市街の道路も不完全なり、特に東京市を以て最も甚だしとす。

馬車鐵道及び電氣鐵道は東京・京都・名古屋三市を始め、二三の都邑に敷設せられたりと雖ども、其の發達尙ほ微々たるものなり。

維新後交通具の發達上特に筆すべきものは、人力車にして、我が國の特色なり、其の數凡そ二十萬、其中凡そ四分の一は東京市に、十分の一は大阪市にあり、近時は他の東洋諸

國にも輸出し、漸次西洋諸國に行はれんとす。

近時特に日清戰役後、長足の進歩をなししは、汽車鐵道にして、既成線路の延長四千哩に達し、又工事中のもの頗ぶる多し。然れども其の速度の小なることを始め、其の他改良すべき點少からず。

鐵道線路の集中せる二大中心は、京阪地方及び東京四近とす。最も不便なるは信越線にして、其の碓氷峠には、アンツ式を用ふ。速度の最も大なるは、山陽鐵道の急行列車にして、十二時間半を以て全線の延長三百三十哩を通過す。

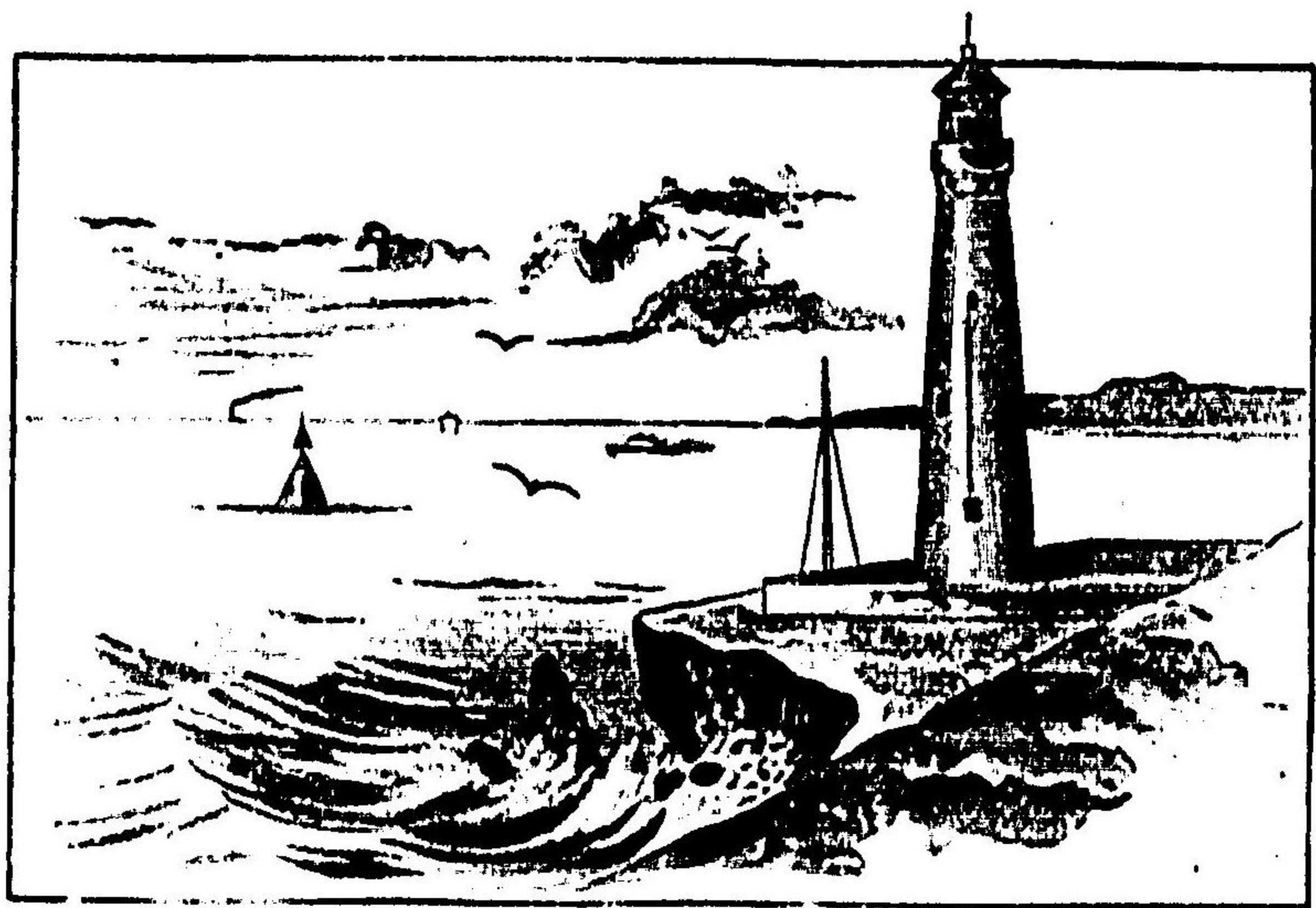
全國の鐵道線路中、其の四割は官設に係り、他は私設なり、私設鐵道會社中主要なるは日本・九州・山陽・關西・北海道炭礦の五鐵道株式會社なり。

二六、水路。我が國には巨大なる河・湖・運河なけれども、往々小蒸氣船を通ずるものあり、琵琶湖・石狩川等は此の例なり。其の他の川も小船を通じ、又は筏を流し得るもの少からず。

海上に於ける水路の交通は、近來特に日清戰役後、非常に頻繁となり、内地の諸港間は勿論、内地と海外諸港の間を往來し、船舶の数は汽船・帆船を合して五千隻、百萬噸に達せんとす。且つ政府は法を設けて、海外への航海及び大船の製造を奨励すれども、我が國との交通及び貿易は、尙ほ主として外國船(特にイギリス船)にて行はる、又外國より購入する船舶も年々決して少からざるなり。

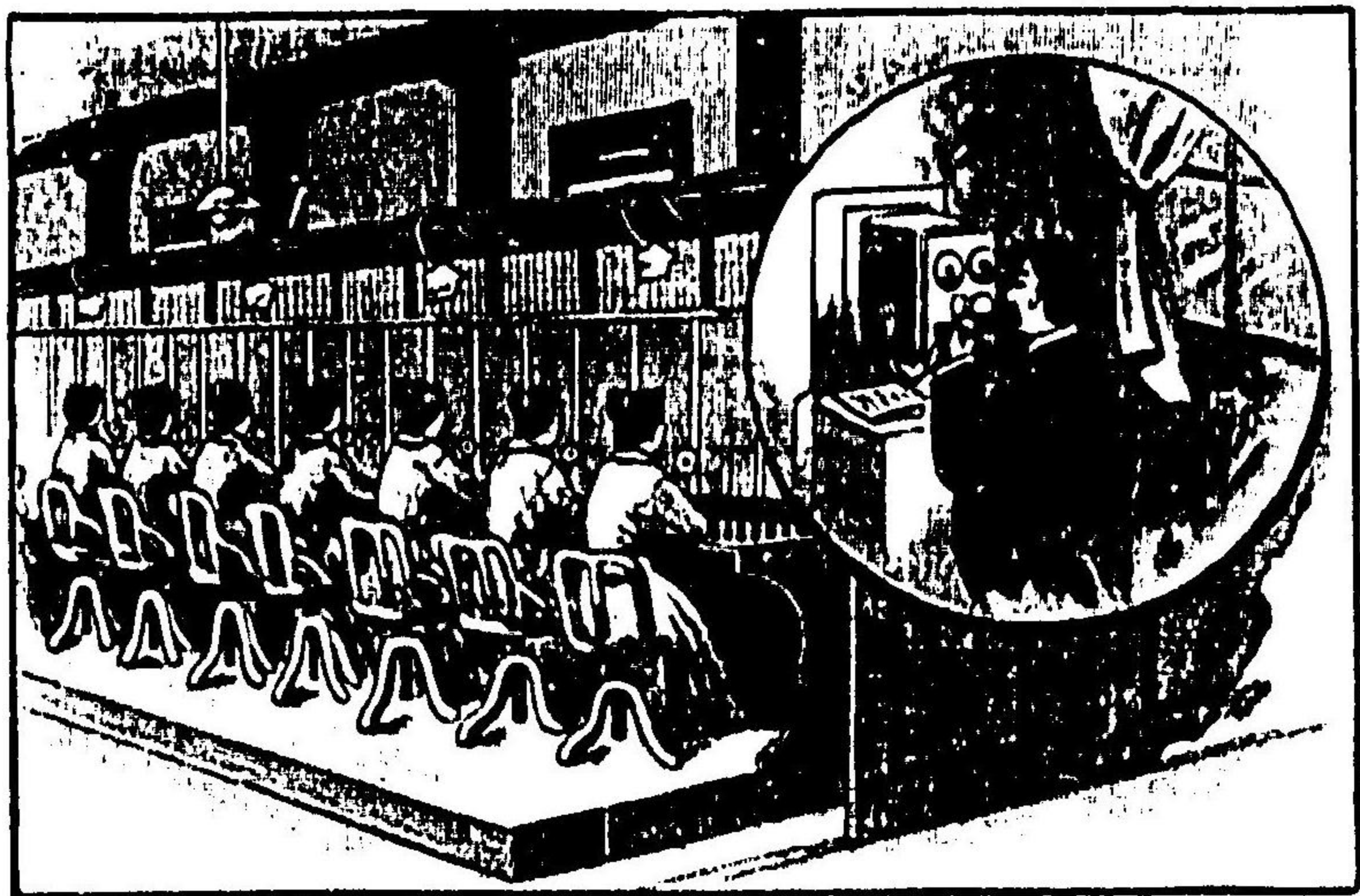
水路交通の二大中心は神戸及び横濱の二港にして、長崎

日本郵船株式會社 三萬噸以上 資本一億圓  
日本郵船株式會社 三萬噸以上 資本一億圓  
日本郵船株式會社 三萬噸以上 資本一億圓



燈臺及び浮標

門司・下ノ關・大阪の四港これに次ぐ。水路交通に關する二大機關は、日本郵船株式會社及び大阪商船株式會社なり、日本郵船株式會社は、内地主要諸港間、内地と臺灣との間、韓・清・印度・ウラヂサスタック・ヨーロッパ・オーストラリア・北アメリカへも航路を開けり。又大阪商船株式會社は、大阪以西及び附近の内地沿



電 話

岸諸港内地と臺灣との間揚子江の全部其の他清韓への航路を開けり。又近時東洋汽船株式會社起りて香港神戸横濱と北アメリカ間の航路を開始せり。

航海に便ならしむる爲めに政府は燈臺浮標等數多の航路標識を設け、全國燈臺の總數は百を超ゆるに至れり。

**二七、郵便電信電話。**

郵便電信電話の事業も、日清

戰役後特に長足の進歩をなしたれども、これを他の文明諸國に比すれば、他の交通事業と同じく、尙ほ遙かに劣等の位置にあり。

郵便は明治四年に始まり、明治十年六月萬國郵便聯合に加入し、今は全國到る所に其の設けあり。發信郵便物の最も多きは東京府にして、大阪府神奈川縣及び京都府これに次ぐ。

電信は明治二年始めて東京横濱間に架設せしより、次第に發達し、今は全國の要地には大抵其の設けあり、且つ海底電線は大隅と臺灣、臺灣と清國、長崎と上海及びウラデナストック、九州と韓國とを連絡せり。

大隅、臺灣間及び臺灣、清國(福建省)間の海底電線は、我が國



の有なれども、對馬及び韓國間、長崎とウラヂナストク及び上海間は、外國人の管理に係る、而して太平洋を横斷して北アメリカに達する海底電線架設の計畫も、遠からずして將に成らんとす。

電話は明治十八年に架設せられたるを始めとし、今は次第に盛大となり、主要なる大都會には大抵交換局の設置あり、又東京及び大阪二市間に長距離電話を開始せり。

### 最近地理學教科書 日本之部終

明治三十五年一月七日印刷  
明治三十五年一月十日發行

最近地理學教科書(日本之部)

定價金 七拾錢

東京市麻布區櫻田町三十九番地

著 者 山 上 萬 次 郎

東京市京橋區銀座堂丁目廿二番地

發 行 者 兼 大日本圖書株式會社

右代表者

専務取締役 宮川保全



東京市京橋區銀座堂丁目廿二番地

大日本圖書株式會社

大阪市東區北久太郎町四丁目十七番屋敷

同 支 社

各府縣下特約販賣所

販 賣 所

大日本圖書株式會社出版圖書特約販賣所

▲東京府 丸善、嵩山房、青野、内田、長島、淺見、大倉、林、鶴喜、水野、宮川、山田、高橋、大橋、岸本、金刺、  
穴山、松色、北陸館、東海信交社、藤江、杉村、中野、二見、▲大阪府 松村、梅原、三木、柳原、石井、前川、金  
澤、石田、吉岡、岡島、金川、中村、小倉、中川、金尾、此村、田中、北村、木田、▲京都府 村上、藤井、松田、  
初介、若林、梅原支店、▲神奈川縣 田沼、丸屋、天野、▲靜岡縣 吉見、廣瀬、菅沼、齋藤、文林堂、▲山  
梨縣 大塚、▲愛知縣 川瀬、片野、▲三重縣 安原、關西圖書會社、▲長野縣 小松、廣原、四澤、貴川、  
今村、宮坂、日新堂、丸山、小林、南川、▲群馬縣 木田、高橋、是岡、中村、▲埼玉縣 長島、水野、水村、  
▲千葉縣 平野、熊勢、高守、朝野、▲茨城縣 川又、伊沼、鯨井、飯塚、▲栃木縣 内山、森山、北城、▲  
福嶋縣 荒井、甲斐山、佐藤、▲宮城縣 梅原、藤崎、▲岩手縣 佐藤、文德堂、▲山形縣 牧野、五十嵐、  
木月、市川、日向、鈴木、白崎、▲秋田縣 成見、藤島、東海林、大澤、▲青森縣 今泉、伊藤、浦山、▲北海道  
道 小橋、堂岡、白鳥、川南、池田、八木、松色、山本、山崎、最上登、▲臺灣 柳川、▲新潟縣 山川、荒俣、  
松田、日原、高桑、四村、室、高橋、辻、中山、▲富山縣 中山、磯野、▲兵庫縣 熊谷、中井、福浦、石田、  
木村、▲奈良縣 木原、▲福井縣 品川、四村、▲岡山縣 武内、▲廣嶋縣 鈴木、原川、兒玉、▲鳥取  
縣 藤谷、橋岡、今井、▲嶋根縣 川岡、岡山、大塚、安達、▲山口縣 白銀、小原、福川、中原、村田、▲香  
川縣 宮崎、入江、筒井、▲徳嶋縣 島崎、▲愛媛縣 向井、土肥、▲高知縣 津木、▲和歌山縣 宮井、  
▲岐阜縣 淺野、岡安、▲石川縣 近田、宇都宮、古澤堂、▲宮崎縣 松井、津野、林澤、谷、野崎、▲長  
崎縣 集英堂、安中、▲佐賀縣 河内、牧川、▲福岡縣 菊竹、石川、博文社、▲熊本縣 長崎、▲大分  
縣 甲斐、守田、野依、梅津、▲鹿兒島縣 宮田、久水、▲沖縄縣 豐見城、有長、

△東京  
 △大阪府  
 △京都府  
 △神奈川府  
 △靜岡府  
 △長門縣  
 △埼玉縣  
 △茨城縣  
 △富山縣  
 △山形縣  
 △福島縣  
 △新潟縣  
 △山梨縣  
 △東京府  
 △山梨縣  
 △高岡縣  
 △富山縣  
 △石川縣  
 △福井縣  
 △滋賀縣  
 △京都府  
 △大阪府  
 △兵庫縣  
 △和歌山縣  
 △奈良縣  
 △鳥取縣  
 △德島縣  
 △高松縣  
 △香川縣  
 △岡山縣  
 △廣島縣  
 △山口縣  
 △島根縣  
 △津和野縣

出版圖書要覽 明治三十四年十一月改正

文學士山邊知作文士太田厚藏共編

- 倫理學說批判 全二册、定價金貳圓五拾錢、星口三三三五號
- 修身教科書 全五册、定價金貳圓、新稅四錢
- 修身教授提要 全二册 近刊
- 學論 大 全 全四册、定價金壹圓四拾錢、全部星口九百九
- 中學國文讀本 全十册、定價金貳圓六拾錢、郵稅貳錢
- 中學國文教程 全十册、定價各册金貳拾錢、郵稅四錢
- 女子中等國文 全八册、定價各册金貳拾錢、郵稅四錢
- 高等女學讀本 全十册、定價各册金貳拾錢、郵稅四錢
- 中學漢文教程 全十册、定價各册金貳拾錢、郵稅四錢
- 中學漢文新讀本 全十册、定價各册金貳拾錢、郵稅四錢
- 明治時代文範 全一册、定價金六拾五錢、郵稅拾錢
- 皇國文法 全一册、定價金五拾五錢、郵稅八錢
- 皇國文法釋義 全一册、定價金壹圓、郵稅六錢
- 國語法階梯 全一册、定價金壹拾錢、郵稅六錢
- 皇國文典 全三册、定價金六拾錢、郵稅四錢
- 新式日本文典 全四册、定價金壹圓貳拾錢、郵稅拾四錢
- 日本文學史綱 全一册、定價金五拾錢、郵稅八錢
- 國語學小史 全一册、定價金壹圓、郵稅六錢
- 漢文通則 全二册 近刊
- 文部省英語讀本 全五册、定價各册四七錢、郵稅拾錢
- 英語教授法 全一册、定價金拾七錢、郵稅不取
- 地理教科書(外國部) 全三册、定價金八拾錢、郵稅八錢

東京 大日本圖書株式會社

出版圖書要覽 明治三十四年十一月改正

- 地理教科書** 本邦外全三冊、近刊
- 初等帝國史** 全二冊、定價金八拾五錢、郵稅拾錢
- 中等帝國史** 全一冊、近刊
- 日本の歴史** 全一冊、近刊
- 訂正初等東洋史** 全一冊、定價金八拾錢、郵稅拾錢
- 訂正東洋歷史地圖** 全一冊、定價金四拾錢、郵稅拾錢
- 中等東洋史** 全三冊、定價金壹圓五拾錢、定價目三百廿五文
- 中等西洋史** 全一冊、定價金七拾錢、郵稅拾錢
- 中學理化示教** 全一冊、定價金壹拾錢、郵稅四錢
- 理化學教科書** 全一冊、近刊

東京

大日本圖書株式會社

- 物理學教科書** 全一冊、定價金七拾五錢、郵稅拾錢
- 物理學問題集** 全一冊、定價金五拾錢、郵稅六錢
- 物理學一般論** 全一冊、定價金壹圓、郵稅八錢
- 訂正化學教科書** 全二冊、定價金壹圓貳拾錢、郵稅拾錢
- 中等化學新編** 全一冊、定價金八拾五錢、郵稅拾錢
- 植物教科書** 全一冊、定價金六拾五錢、郵稅八錢
- 植物學** 全一冊、定價金五拾錢、郵稅六錢
- 普通植物** 全一冊、定價金壹圓貳拾錢、郵稅拾錢
- 普通植物誌** 全一冊、定價金壹圓七拾錢、郵稅拾錢
- 植物採集便覽** 全一冊、定價金五拾五錢、郵稅四錢
- 日本植物編** 第一冊、定價金壹圓五拾錢、郵稅拾錢

出版圖書要覽 明治三十四年十一月改正

- 動物教本** 全一冊、定價金八拾五錢、郵稅八錢
- 生理教本** 全一冊、近刊
- 礦物教本** 全一冊、定價七拾錢、郵稅六錢
- 普通體操法** 全一冊、定價金五拾錢、郵稅六錢
- 兵式體操法** 全一冊、定價金六拾錢、郵稅六錢
- 雨中體育談** 全一冊、定價金七拾錢、郵稅八錢
- 室內體育** 全一冊、定價金五拾錢、郵稅六錢
- 中等日本臨畫帖** 全六冊、定價金壹圓、郵稅拾錢
- 中等畫本** 全六冊、定價金壹圓、郵稅拾錢
- 女子高等畫帖** 全八冊、定價金壹圓六拾錢、郵稅拾六錢
- 數學教授法講義** 全一冊、定價金九拾錢、郵稅拾錢

東京

大日本圖書株式會社

- 算術條目教授法** 全一冊、定價金六拾五錢、郵稅七錢
- 算術小教科書** 全二冊、定價各冊金五拾錢、郵稅六錢
- 算術教科書** 全二冊、定價各冊金七拾錢、郵稅八錢
- 代數學教科書** 全二冊、定價各冊金六拾錢、郵稅六錢
- 幾何學小教科書** 全二冊、定價各冊金四拾錢、郵稅四錢
- 幾何學教科書** 全三冊、定價各冊金四拾錢、郵稅四錢
- 英文幾何學** 全三冊、定價各冊金四拾錢、郵稅四錢
- 幾何學講義** 第一卷、定價金七拾五錢、郵稅六錢
- 近世平面幾何學** 全一冊、定價金七拾錢、郵稅六錢
- 三角法教科書** 全二冊、定價金七拾五錢、郵稅八錢

○**法制大意** 全二冊、定價金五拾圓、  
郵稅八圓

○**法學教科書** 全二冊 單刊

○**經濟學教科書** 全二冊 單刊

○**哲學史要** 全二冊 單刊

○**論理學綱要** 全一冊、定價金六拾五圓、  
郵稅拾圓

○**修辭學** 全一冊、定價金八拾圓、  
郵稅拾圓

○**社會學** 全一冊、定價金八拾五圓、  
郵稅拾圓

○**落窪物語大成** 全四冊、定價金壹圓八拾圓、  
郵稅拾圓

○**スケッチブック** 全二冊、定價金壹圓、  
郵稅拾圓

○**視話法** 全一冊、定價金六拾圓、  
郵稅四圓

○**海軍圖說** 全二冊、定價金壹拾五圓、  
郵稅六圓

◎**帝國文學**

●當社は明治二十三年創立以來、文學部及名家大家の著書に成れる各種學校の教科書に參考するに主とし、其他學術技術の圖書の製本及用紙は最も注意を加へ、堅強耐久を旨とし、兼て体裁の美麗に及ばず、又見本と賣品とを異にするが如き通弊は當社の斷じて爲さざる所とす。●圖書の供給は當社の特に意を用ゐる所、就中教科書は豫め十分の準備を爲し置くを以て、學期に及んで品切を告ぐるが如きは決して之れ無きを期す。若し各地の當社特約販賣所に於て高需に應ずること能はざる場合あらば、直接に當社へ宛て御注文あらんことを希望す。●當社出版圖書解説附録目録入用の方は、往復論書にて申込あれば無代進呈す。

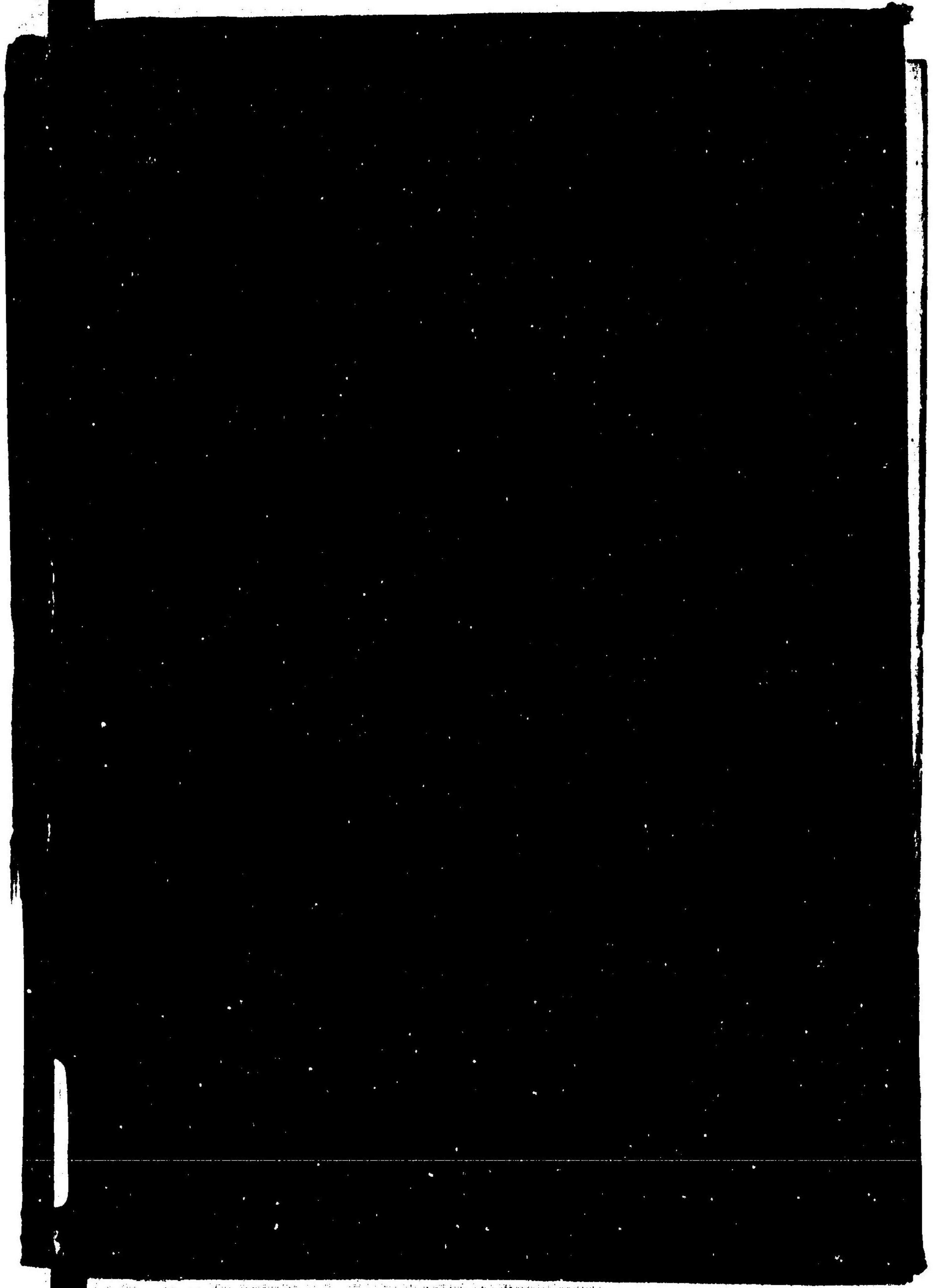
告 謹

◎**丁酉倫理會講演集**

大日本圖書株式會社

東京

93
28



93  
78

021941-001-6

93-78

最近地理学教科書

山上 万次郎/著

M35

ADA-0183





